

豊後大野市総合計画策定のための 職員アンケート 結果報告書

2025年7月

目次

1. 調査概要	2
(1) 調査概要	3
2. 調査結果	4
(1) 回答者の属性(問1～5)	5
(2) 住民アンケートとの比較(問6～13)	8
(3) まちづくりの取組状況(問14～20)	22
(4) 総合計画に関する認識(問21)	24

1. 調査概要

(1)調査概要

豊後大野市総合計画策定のための職員アンケートの調査概要は以下のとおりです。

項目	内容
① 調査期間	<ul style="list-style-type: none">● 令和7年5月28日(水)～令和7年6月18日(水)
② 調査対象	<ul style="list-style-type: none">● 豊後大野市役所に在籍している職員(会計年度任用職員を含む)
③ 調査方法	<ul style="list-style-type: none">● インターネット方式:案内文の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームで回答
④ 調査結果の活用	<ul style="list-style-type: none">● 次期総合計画策定時の参考資料として活用
⑤ 留意点	<ul style="list-style-type: none">● 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。● 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率が100%と一致しない場合があります。
⑥ 回収率	<ul style="list-style-type: none">● 48.2% (=回答者264件 ÷ 職員数548件 × 100)

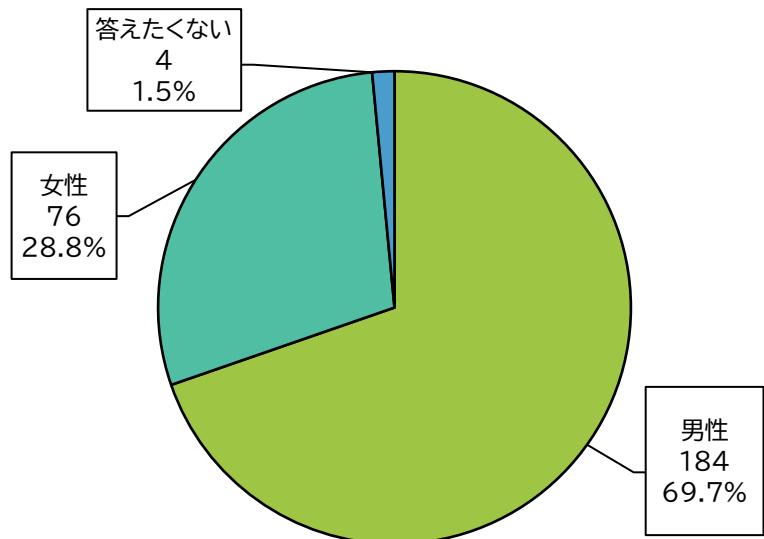
2. 調査結果

(1)回答者の属性

設問文:問1.あなたの性別を教えてください。

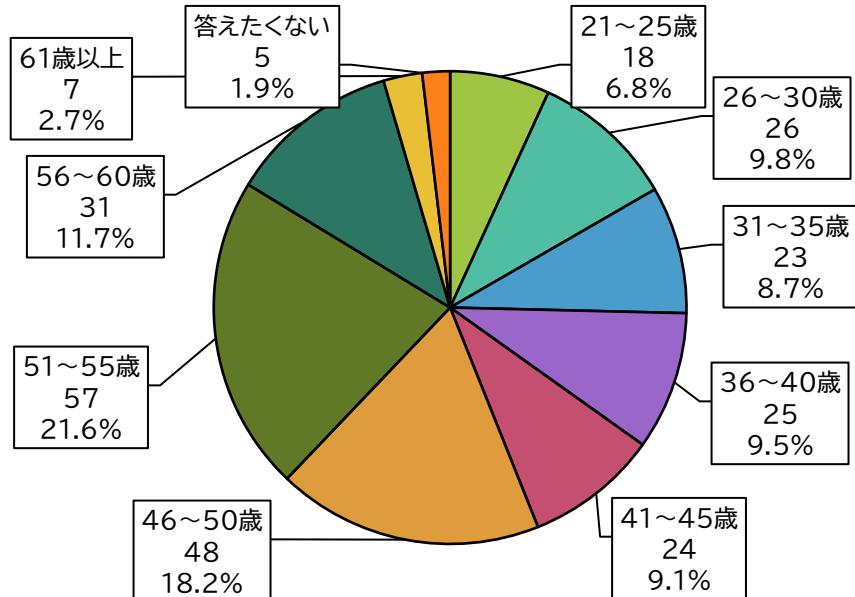
設問文:問2.あなたの年齢を教えてください。

性別



n=264

年齢



n=264

回答者の性別の結果

- 回答者の性別は、「男性」が69.7%、「女性」が28.8%となっており、男性の割合が高くなっています。

回答者の年齢の結果

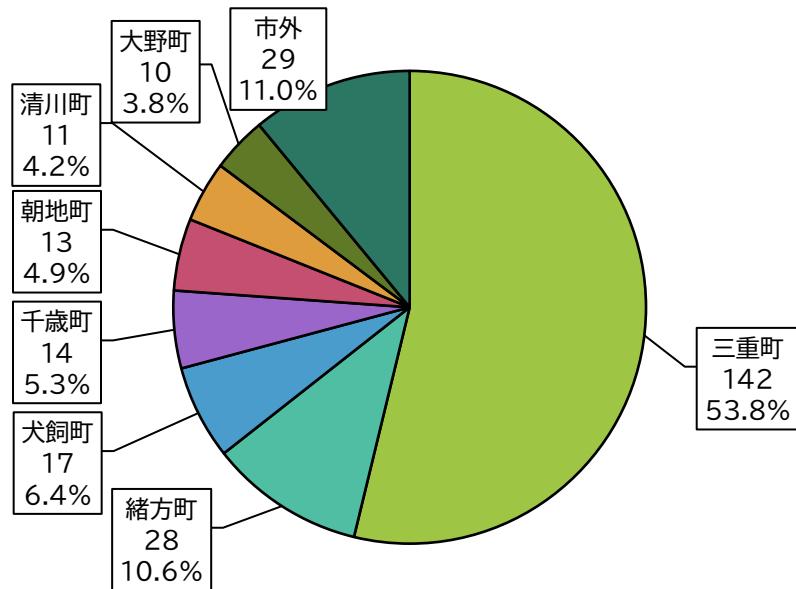
- 回答者の年齢は、「51~55歳」が21.6%、「46~50歳」が18.2%、「56~60歳」が11.7%、「26~30歳」が9.8%、「36~40歳」が9.5%などとなっています。

(1)回答者の属性

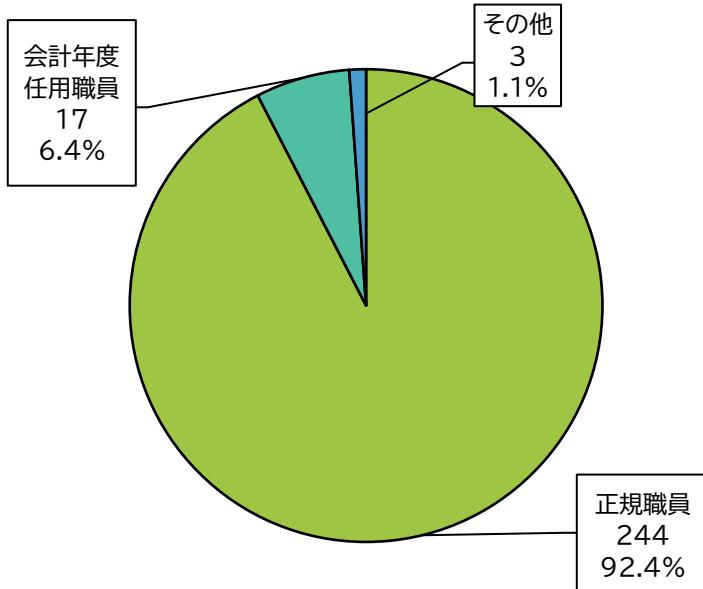
設問文:問3.あなたの居住地域を教えてください。

設問文:問4.あなたの雇用形態を教えてください。

居住地域



雇用形態



回答者の居住地域の結果

- 回答者の居住地域は、「三重町」が53.8%、「緒方町」が10.6%、「犬飼町」が6.4%、「千歳町」が5.3%などとなっています。

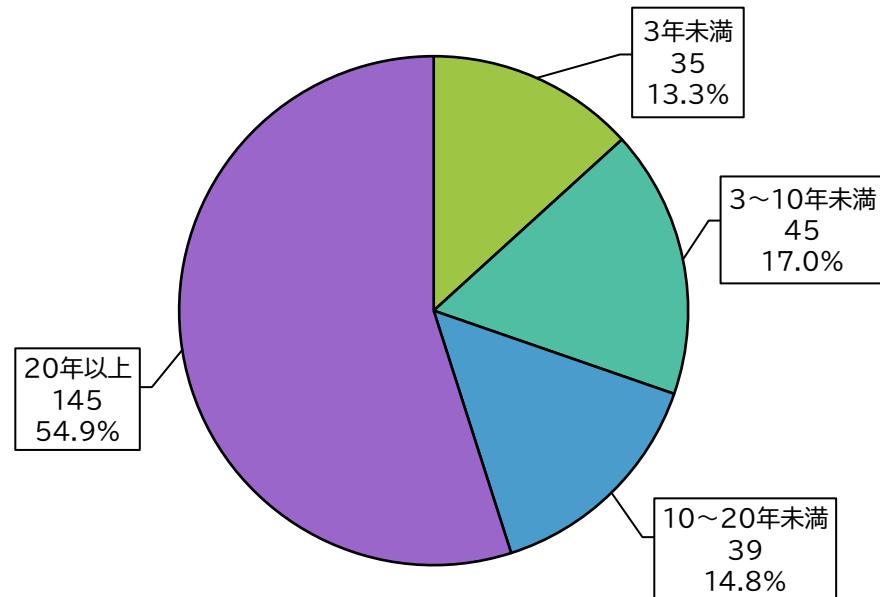
回答者の雇用形態の結果

- 回答者の雇用形態は、「正規職員」が92.4%、「会計年度任用職員」が6.4%などとなっています。

(1)回答者の属性

設問文:問5.あなたの在職年数を教えてください。

在職年数



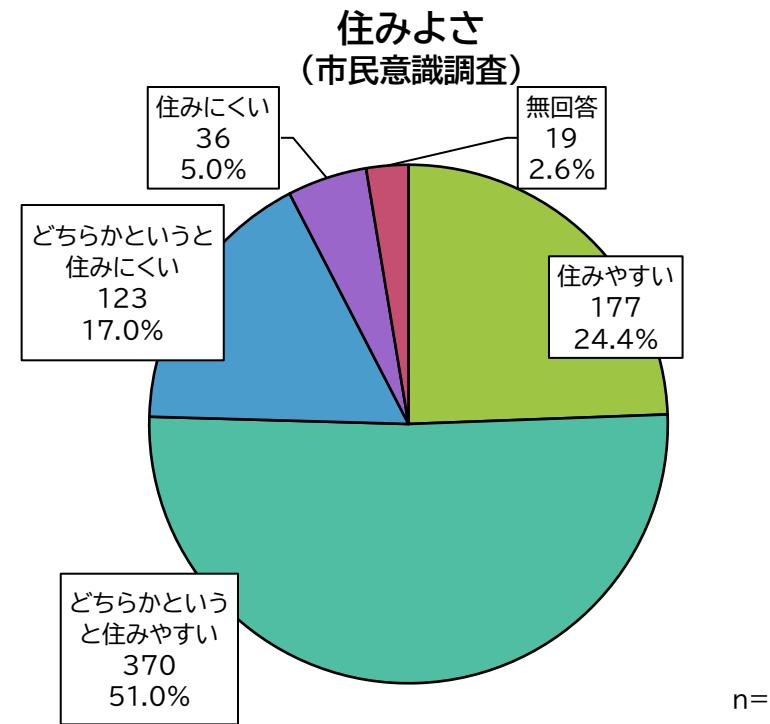
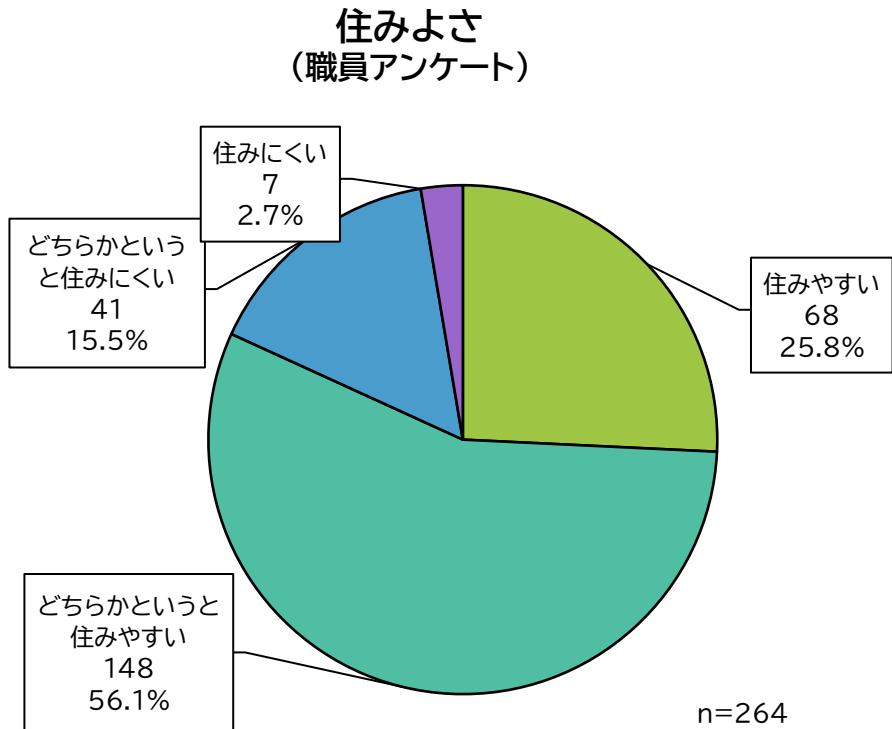
回答者の在職年数の結果

n=264

- 回答者の在職年数は、「20年以上」が54.9%となっており、半数以上を占めています。また、「3~10年未満」が17.0%、「10~20年未満」が14.8%などとなっています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問6.あなたは豊後大野市が住みやすいまちだと思いますか。



住みよさ(職員アンケート)の結果

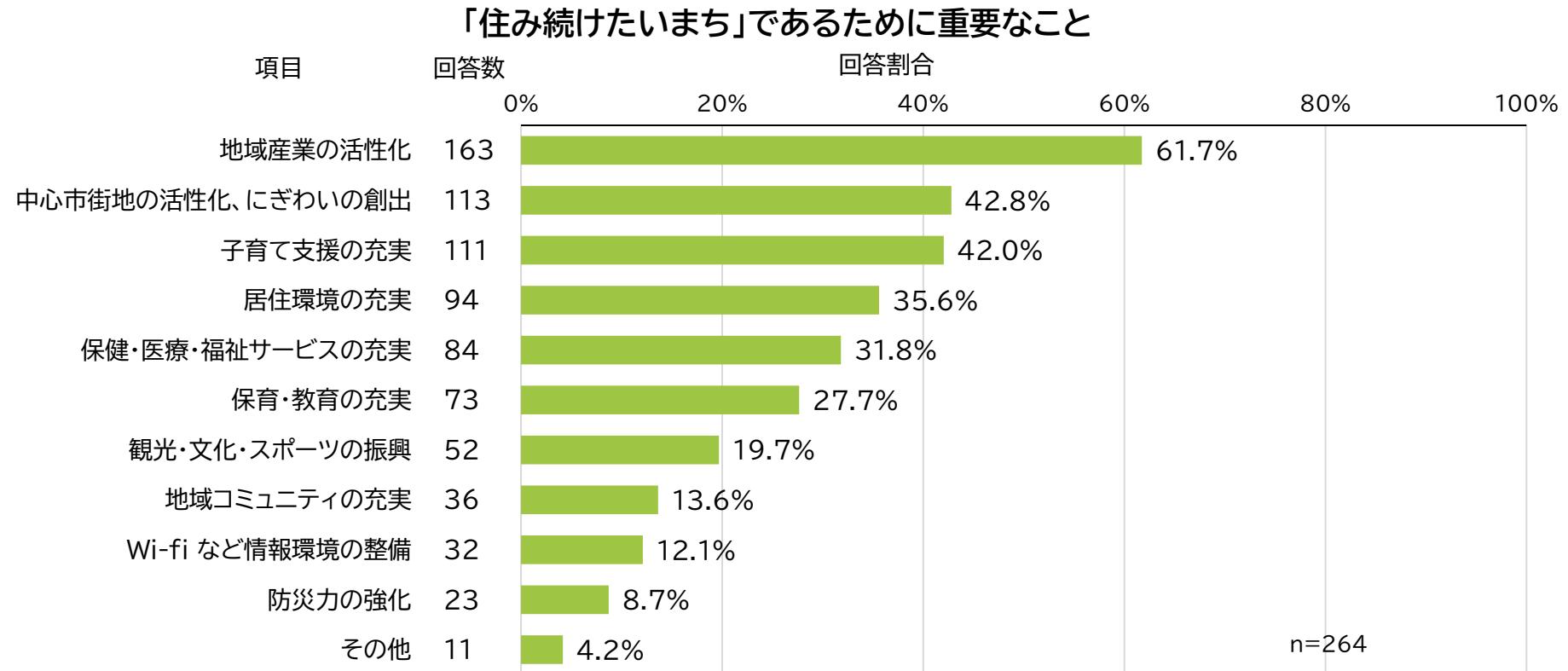
- 「住みやすい」「どちらかというと住みやすい」と回答した人の割合が合わせて81.9%となっており、全体の約8割を占めています。

住みやすさ(市民意識調査)の結果

- 「住みやすい」「どちらかというと住みやすい」と回答した人の割合が合わせて75.4%となっており、全体の約7割を占めています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問7.豊後大野市が「住み続けたいまち」であるために、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの3つを選択)



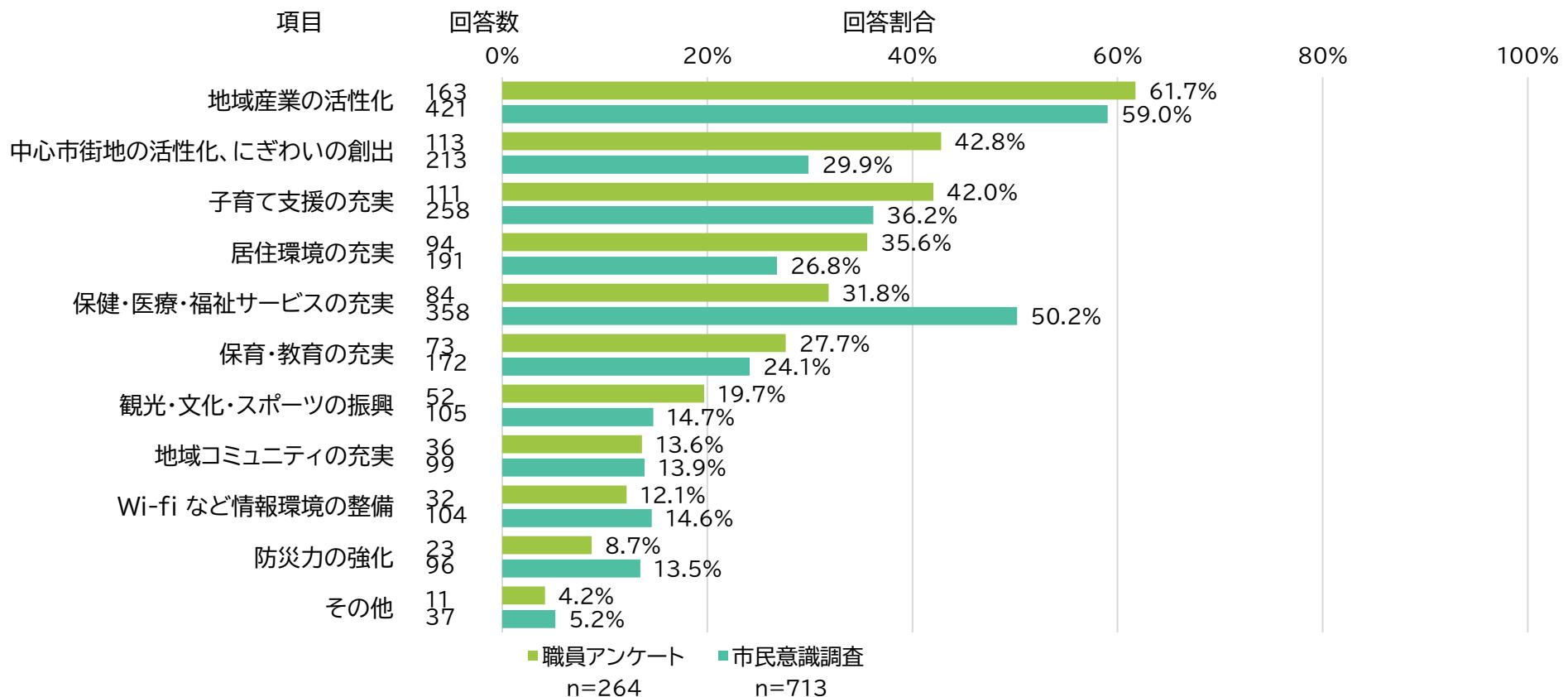
豊後大野市が「住み続けたいまち」であるために重要なことの結果

- 重要なことは、「地域産業の活性化」と回答した人の割合が61.7%ともっとも高く、次いで「中心市街地の活性化、にぎわいの創出」「子育て支援の充実」などとなっています。
- 「その他」の具体的な内容は、交通の利便性向上、大企業の誘致、豊かな自然など11件の意見がありました。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問7.豊後大野市が「住み続けたいまち」であるために、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの3つを選択)

「住み続けたいまち」であるために重要なこと

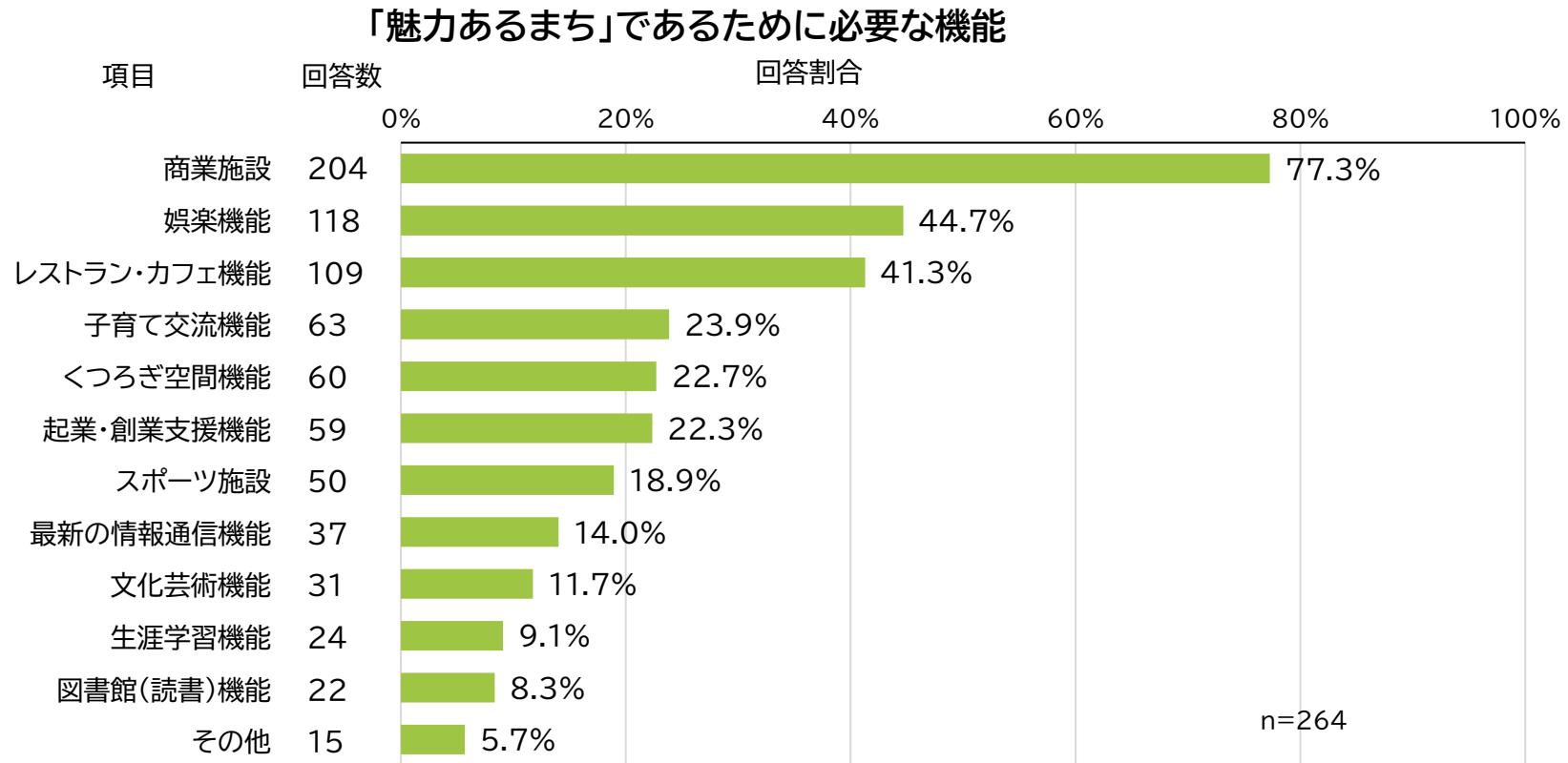


職員アンケートと市民意識調査の比較結果

- 市民意識調査と比較すると、「中心市街地の活性化、にぎわいの創出」は12.9ポイント高くなっています。また、「保健・医療・福祉サービスの充実」は18.4ポイント低くなっています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問8.にぎわいがあり、人が集える「魅力あるまち」であるために、どのような機能(施設)が必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つを選択)

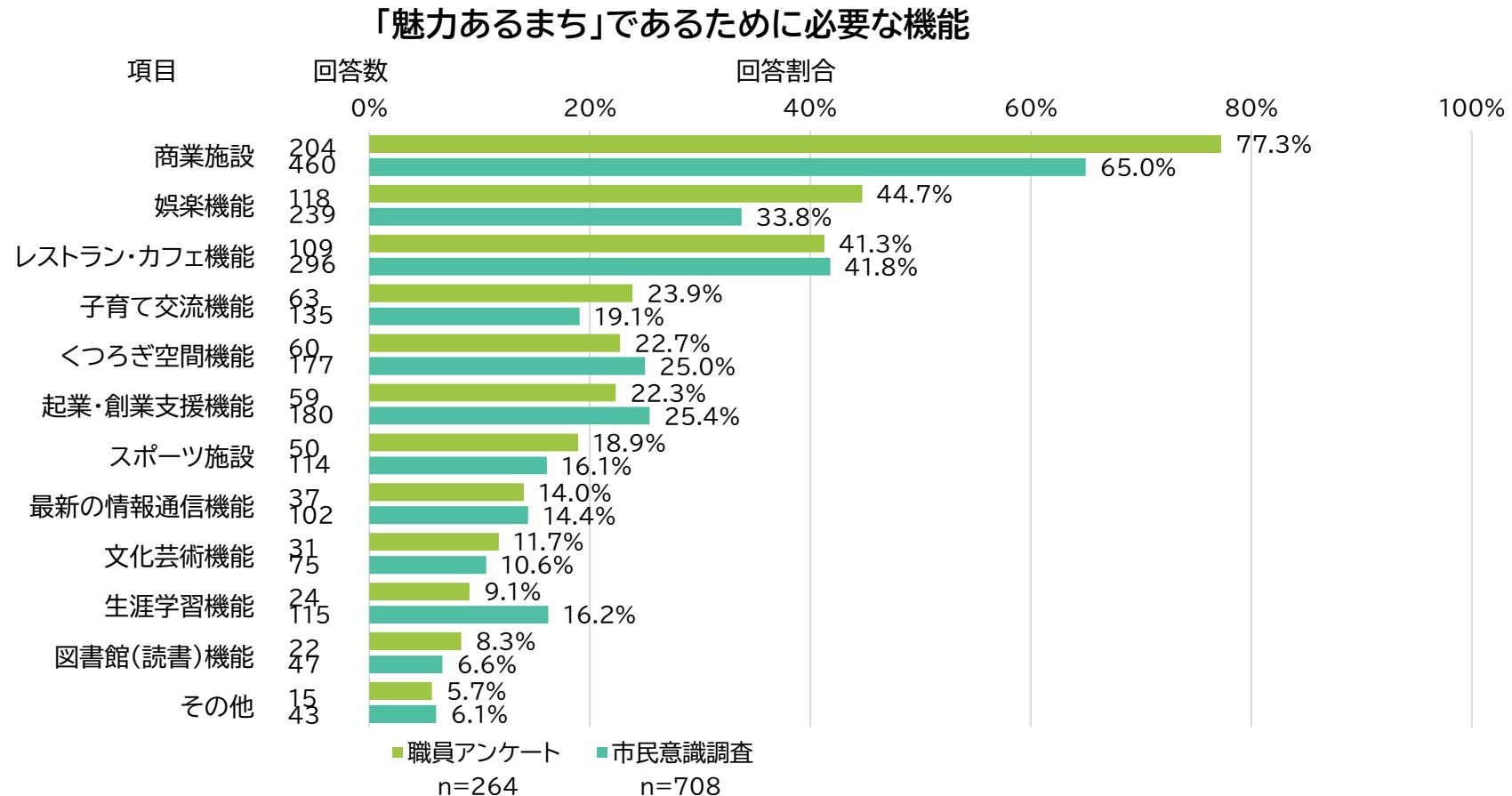


「魅力あるまち」であるために重要なことの結果

- 重要なことは、「商業施設」と回答した人の割合が77.3%ともっとも高く、次いで「娯楽施設」「レストラン・カフェ機能」などとなっています。
- 「その他」の具体的な内容は、工場等の多くの雇用を生む働く場所、宿泊施設、公共交通機関など14件の意見がありました。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問8.にぎわいがあり、人が集える「魅力あるまち」するために、どのような機能(施設)が必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つを選択)

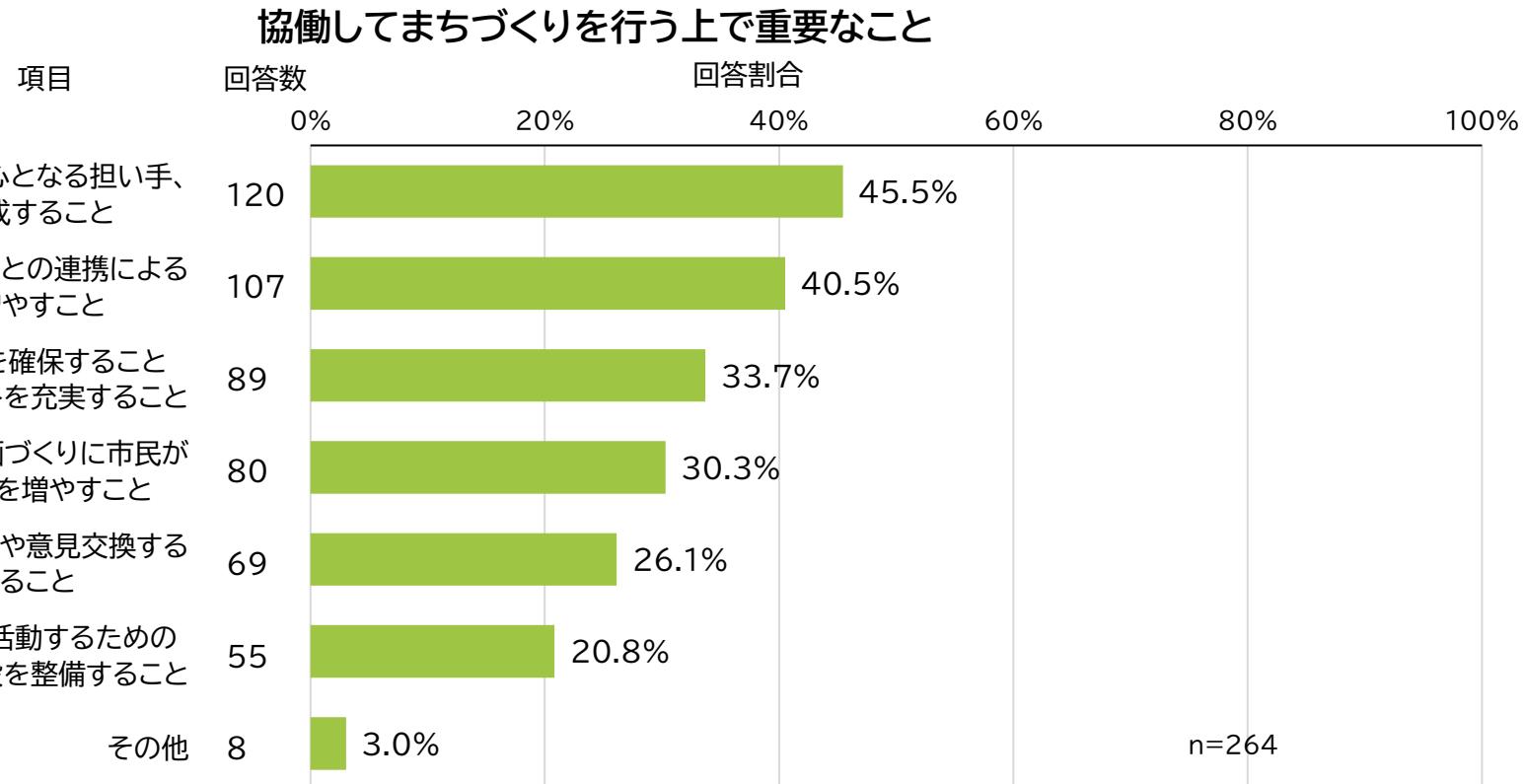


職員アンケートと市民意識調査の比較結果

- 市民意識調査と比較すると、「商業施設」は12.3ポイント高くなっています。また、「生涯学習機能」は7.1ポイント低くなっています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問9.市民と行政が協働してまちづくりを行う上で、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの2つを選択)



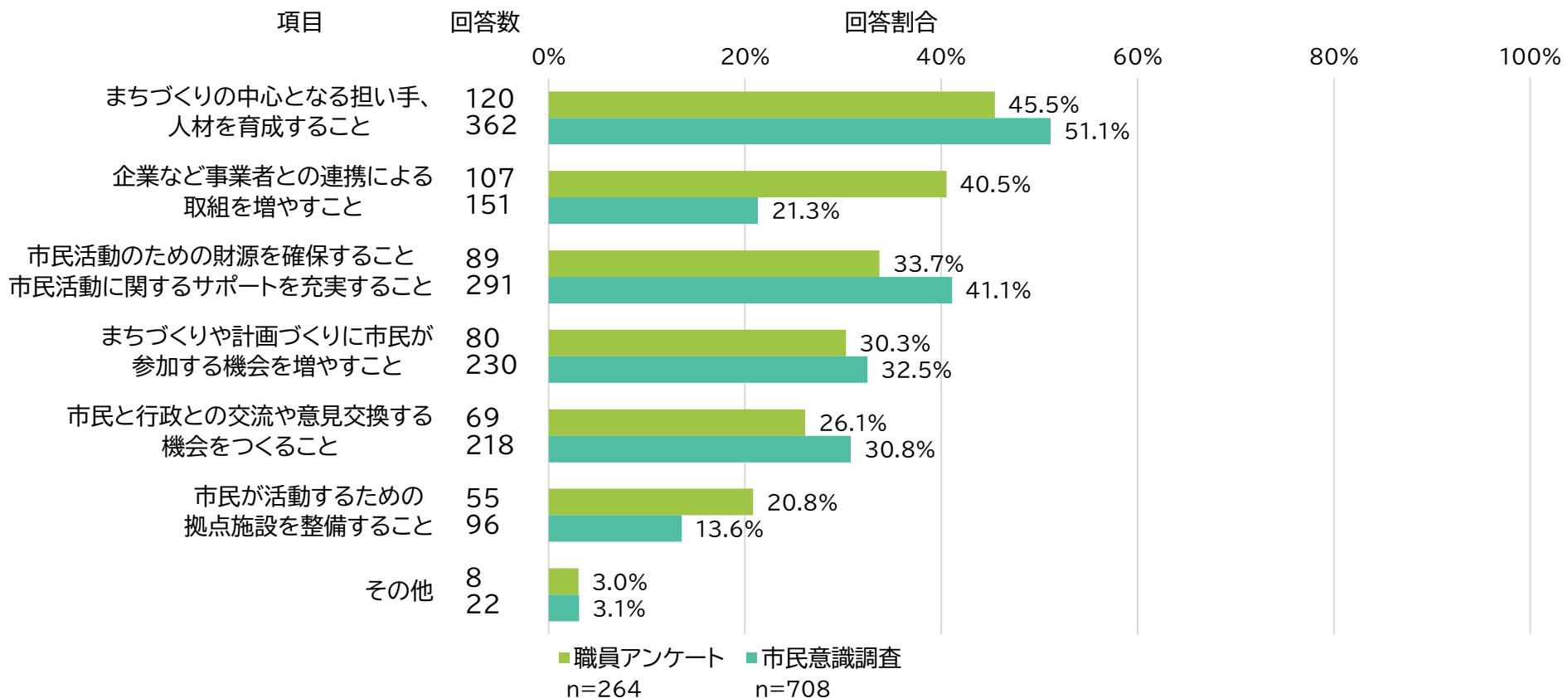
市民と行政が協働してまちづくりを行う上で重要なことの結果

- 重要なことは、「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」と回答した人の割合が45.5%ともっと高く、次いで「企業など事業者との連携による取組を増やすこと」「市民活動のための財源を確保すること 市民活動に関するサポートを充実すること」などとなって います。
- 「その他」の具体的な内容は、活動団体に大胆な資金援助、特定の市民のみでなく多くの市民が参加できるような集い、公共交通機関の発展など8件の意見がありました。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問9.市民と行政が協働してまちづくりを行う上で、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの2つを選択)

協働してまちづくりを行う上で重要なこと



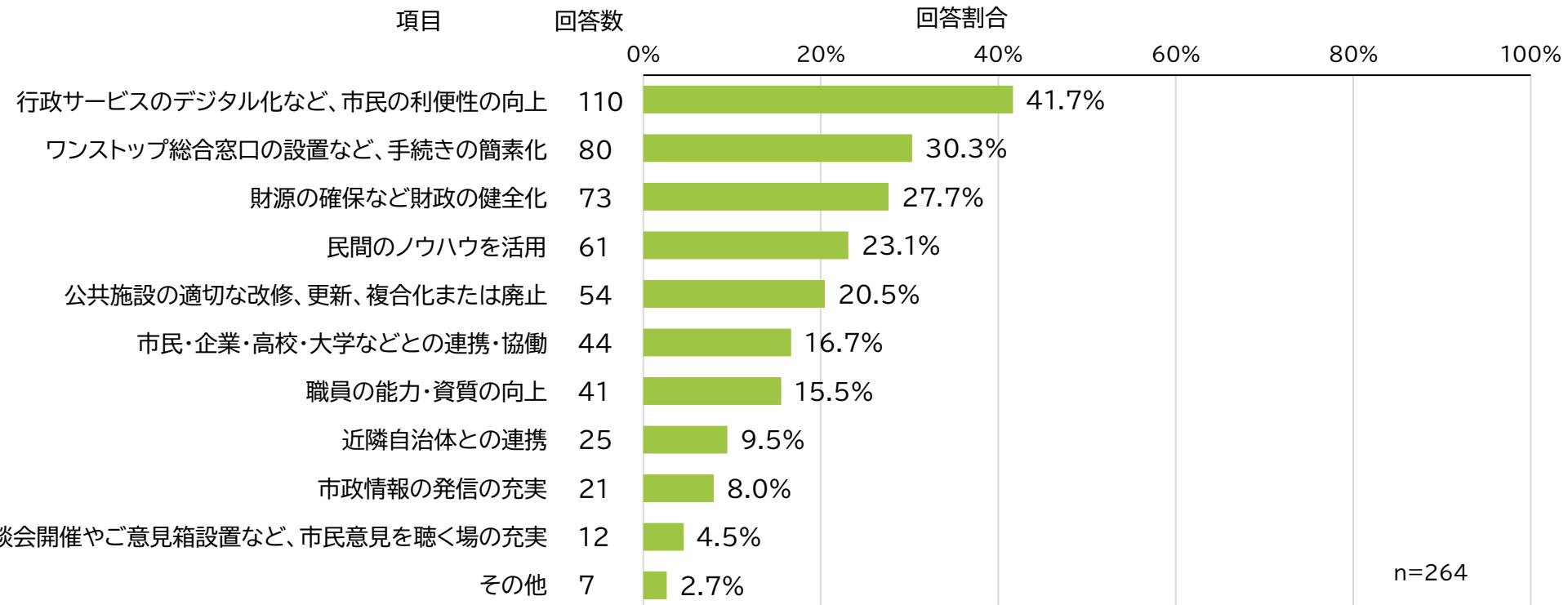
職員アンケートと市民意識調査の比較結果

- 市民意識調査と比較すると、「企業など事業者との連携による取組を増やすこと」は19.2ポイント高くなっています。また、「市民活動のための財源を確保すること 市民活動に関するサポートを充実すること」は7.4ポイント低くなっています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問10.効率的・効果的な行政運営を行う上で、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの2つを選択)

効率的・効果的な行政運営を行う上で重要なこと



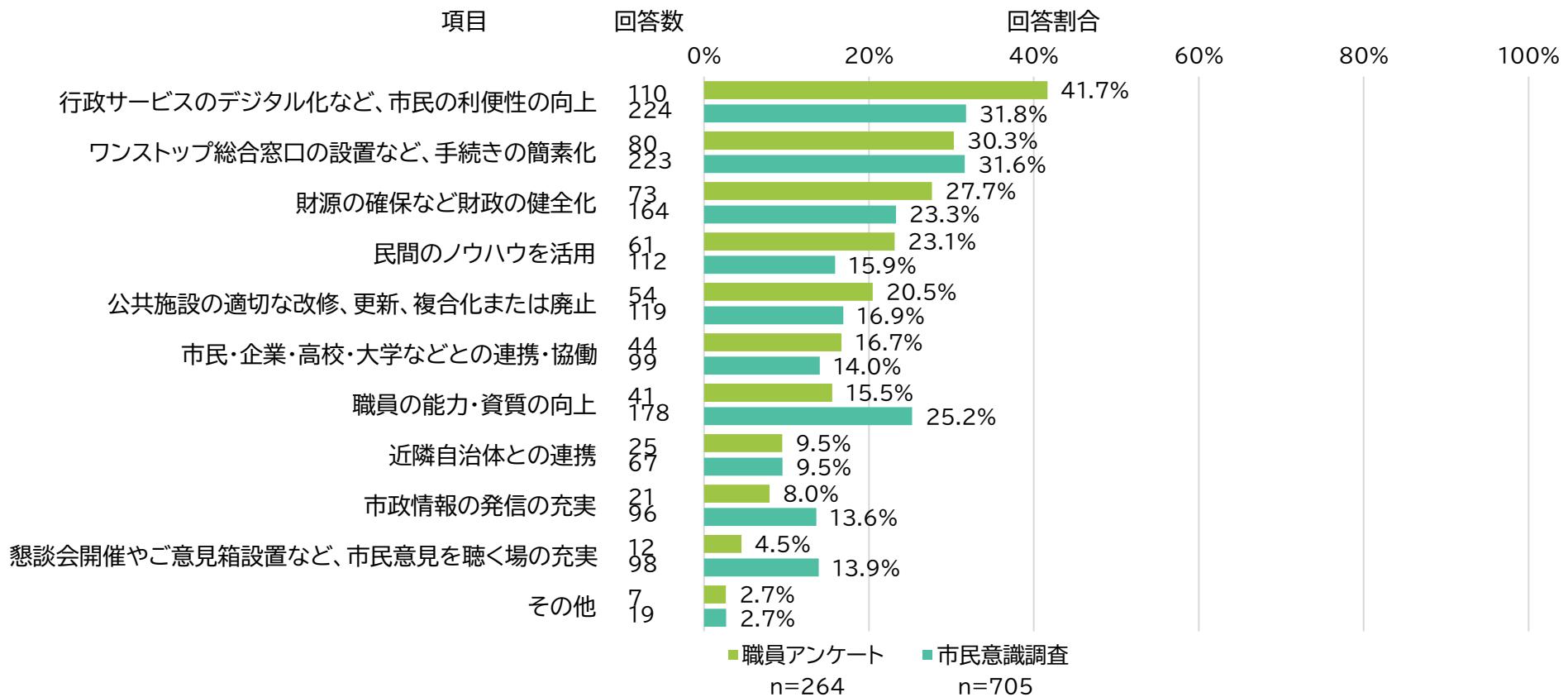
効率的・効果的な行政運営を行う上で重要なことの結果

- 重要なことは、「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」と回答した人の割合が41.7%ともっとも高く、次いで「ワンストップ総合窓口の設置など、手続きの簡素化」「財源の確保など財源の健全化」などとなっています。
- 「その他」の具体的な内容は、業務の整理・廃止、事業の削減(選択と集中)、コンパクトシティなど7件の意見がありました。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問10.効率的・効果的な行政運営を行う上で、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの2つを選択)

効率的・効果的な行政運営を行う上で重要なこと



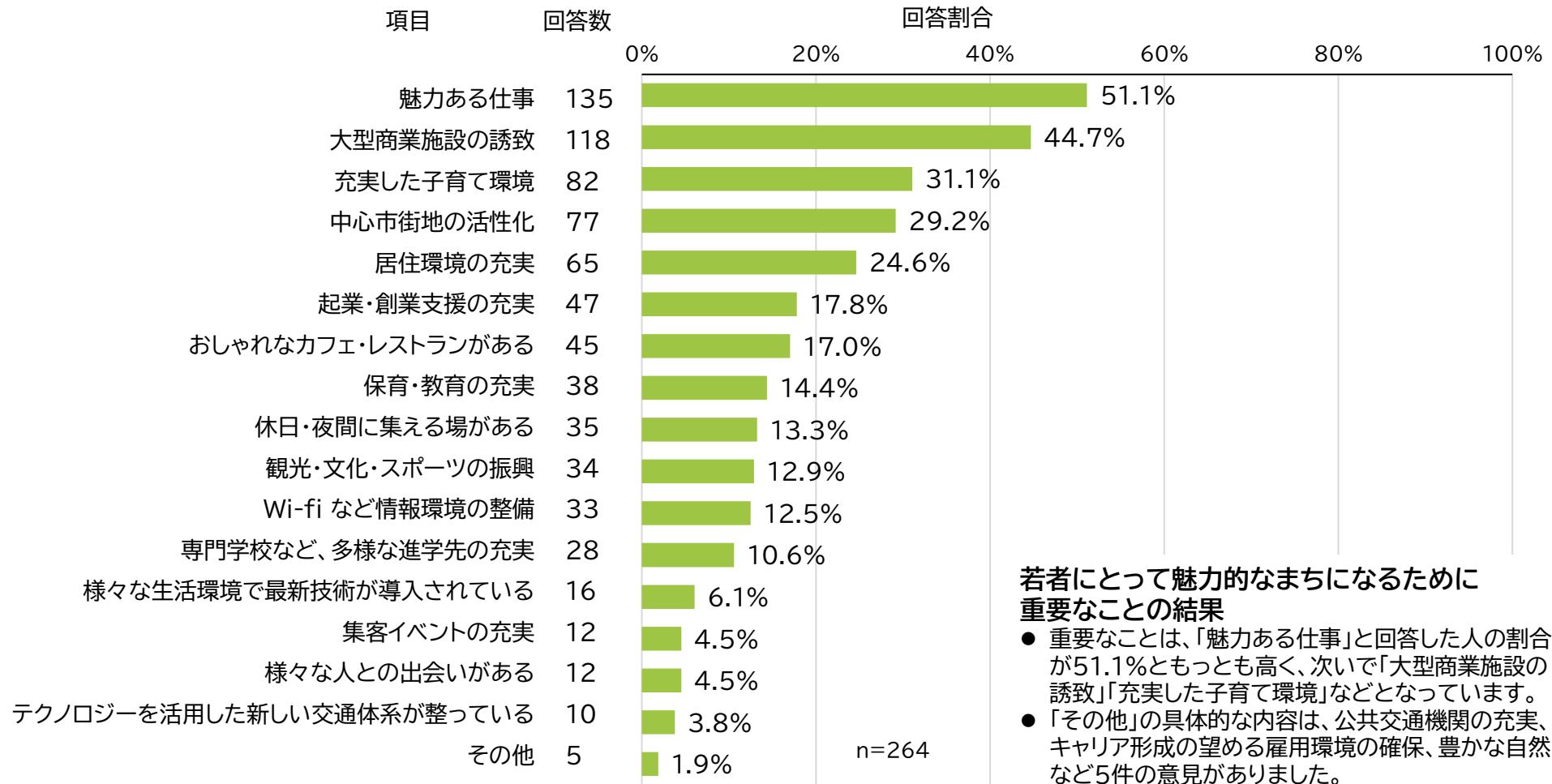
職員アンケートと市民意識調査の比較結果

- 市民意識調査と比較すると、「行政サービスのデジタル化など、市民の利便性の向上」は9.9ポイント高くなっています。また、「職員の能力・資質の向上」は9.7ポイント低くなっています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問11.若者にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの3つを選択)

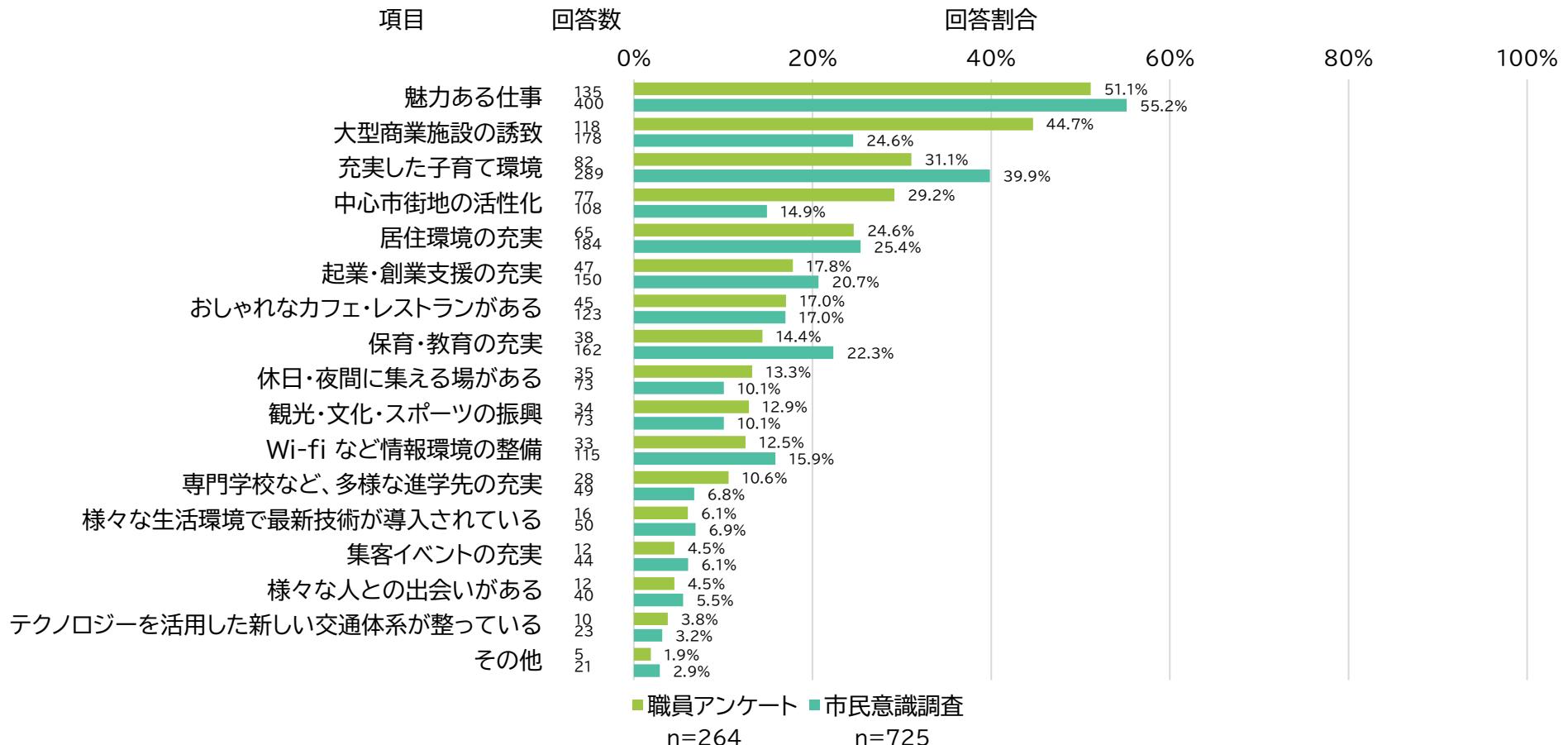
若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと



(2)住民アンケートとの比較

設問文:問11.若者にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことは何ですか。(特にあてはまるもの3つを選択)

若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと

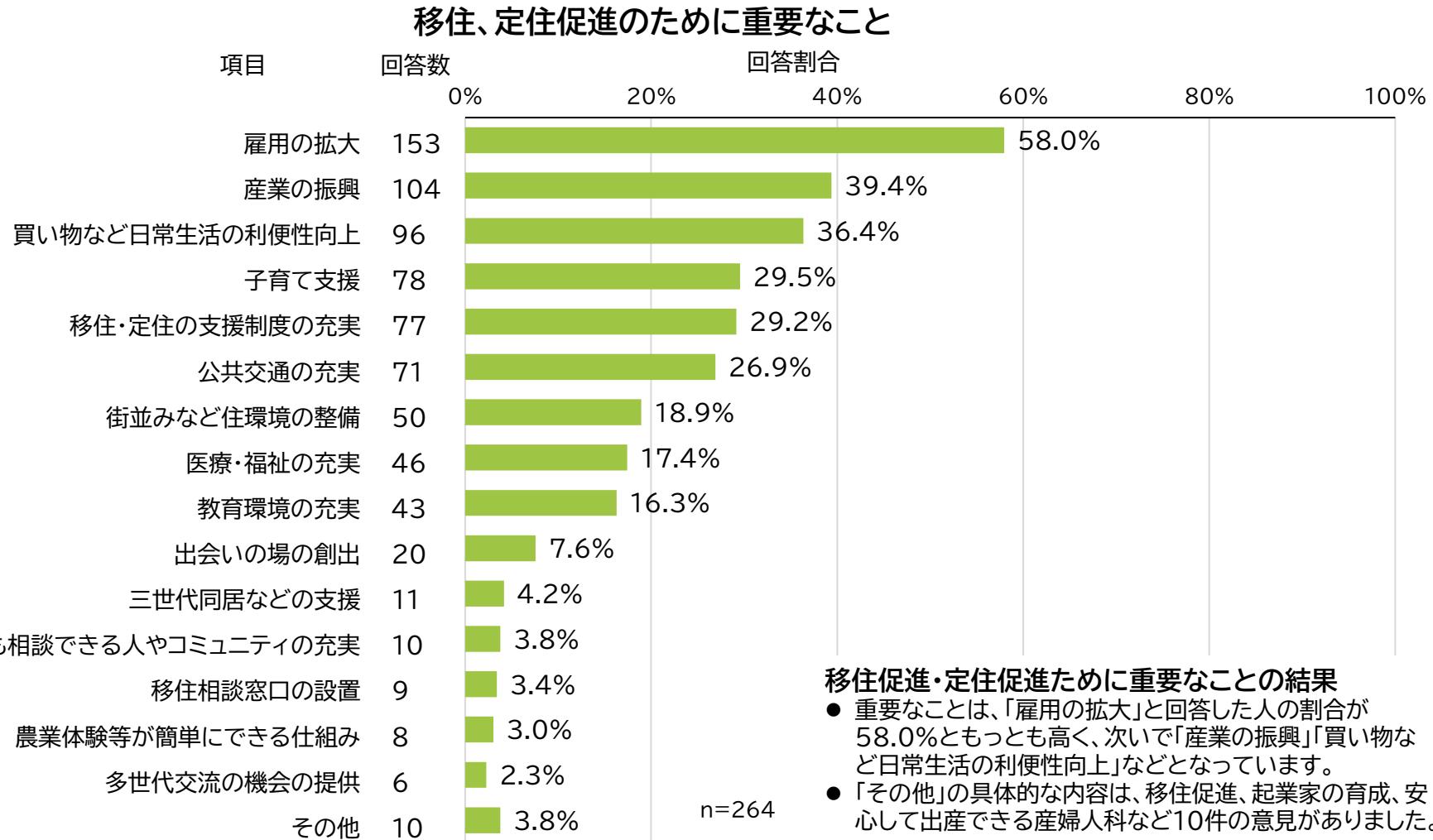


職員アンケートと市民意識調査の比較結果

- 市民意識調査と比較すると、「大型商業施設の誘致」は20.1ポイント高くなっています。また、「充実した子育て環境」は8.8ポイント低くなっています。

(2)住民アンケートとの比較

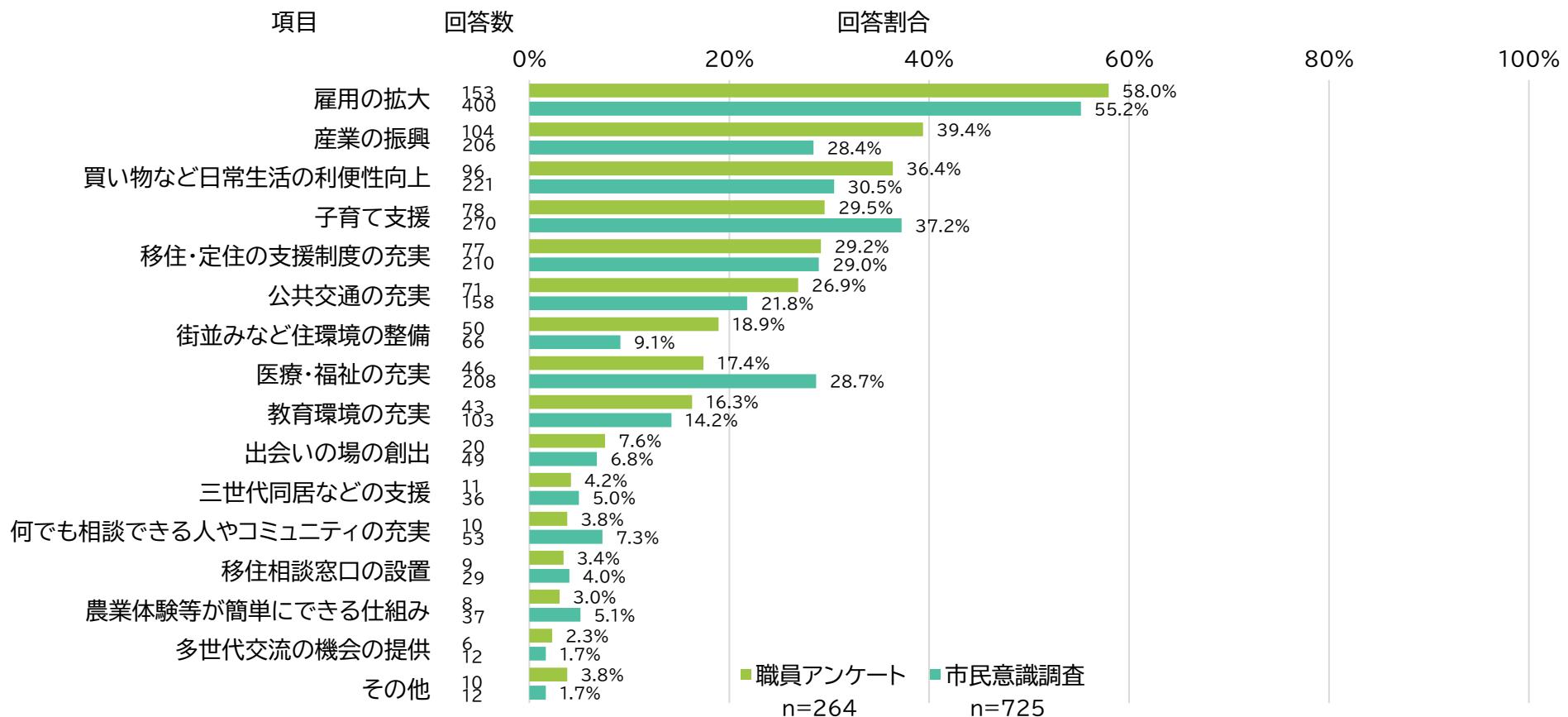
設問文:問12.「人口を増やす(移住促進など)」「人口の流出を防ぐ(定住促進)」ため重要なことは何ですか。(特にあてはまるもの3つを選択)



(2)住民アンケートとの比較

設問文:問12.「人口を増やす(移住促進など)」「人口の流出を防ぐ(定住促進)」ため重要なことは何ですか。(特にあてはまるもの3つを選択)

移住、定住促進のために重要なこと

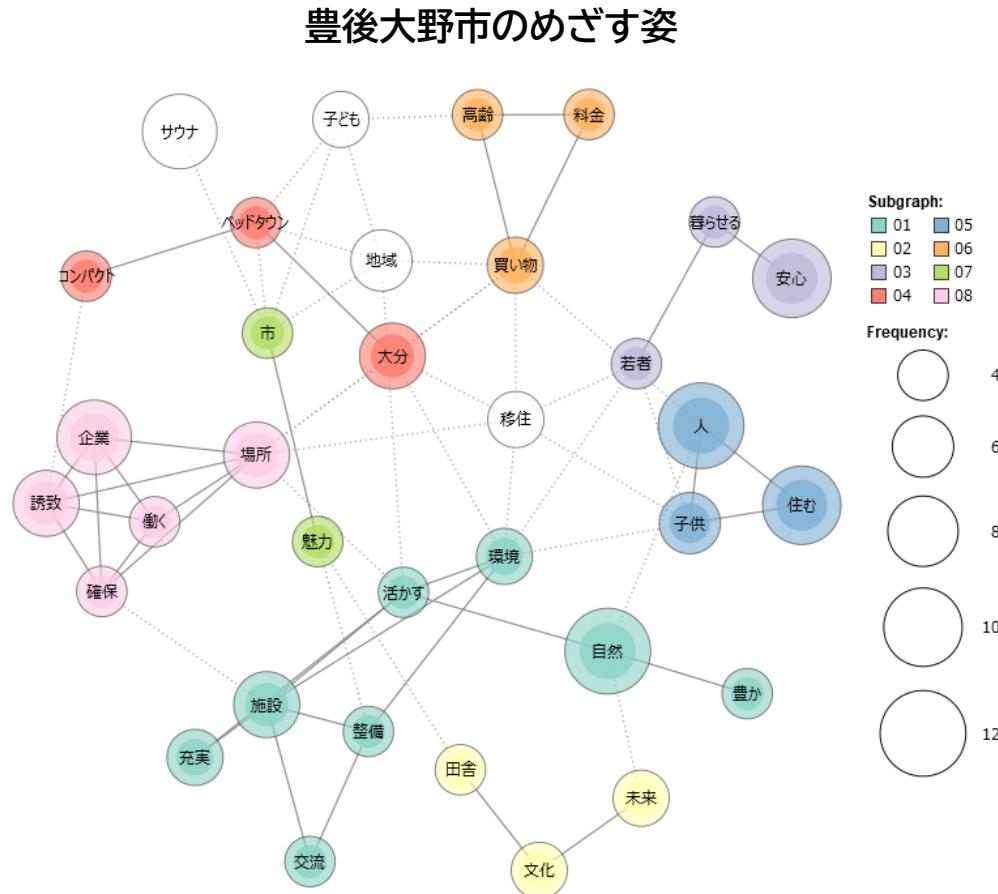


職員アンケートと市民意識調査の比較結果

- 市民意識調査と比較すると、「産業の振興」は11.0ポイント高くなっています。また、「医療・福祉の充実」は11.3ポイント低くなっています。

(2)住民アンケートとの比較

設問文:問13.あなたは、将来の豊後大野市の姿について、どのようにになって欲しいとお考えですか。将来像としてふさわしいキーワードをお書きください。(自由記述)(例:サウナのまち、大分の野菜畠 など)



将来の豊後大野市の姿の結果

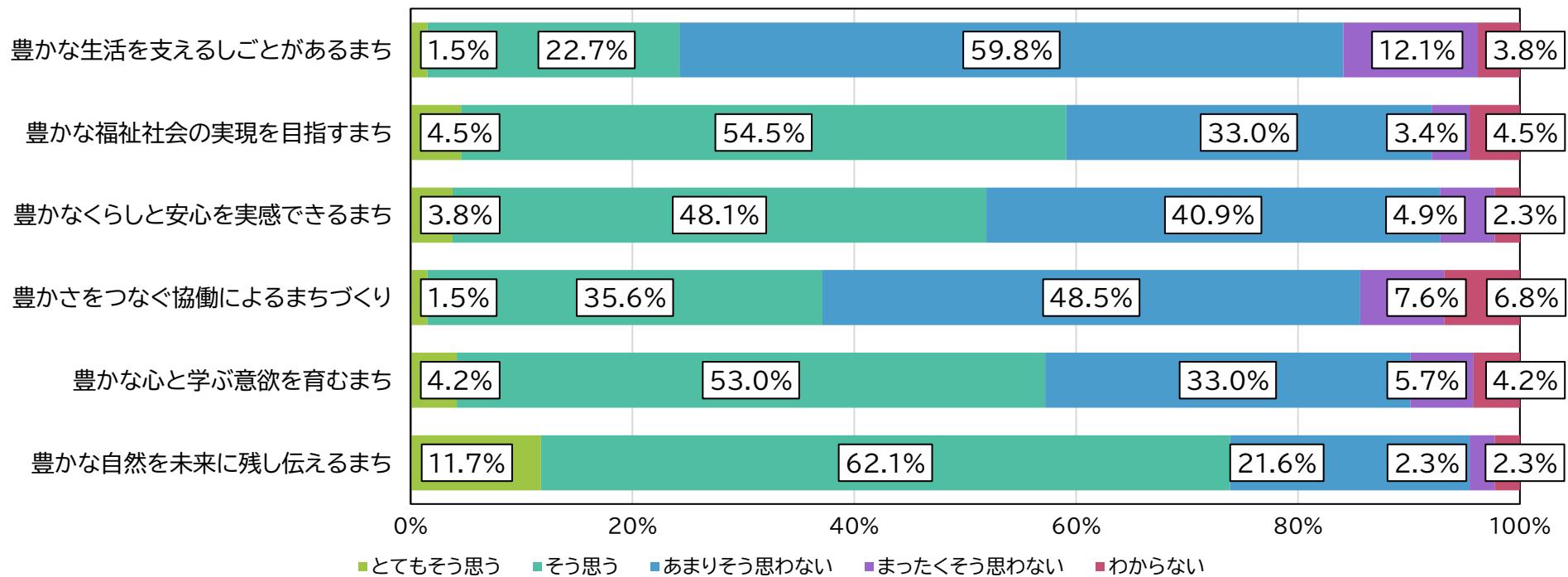
- 自然が豊か、環境を活かした施設の充実、企業誘致し働く場所の確保などの意見が多くありました。

(3)まちづくりの取組状況

第2次豊後大野市総合計画にて掲げた6つの政策目標の到達状況についてお聞かせください。

設問文:問14~19.第2次豊後大野市総合計画にて掲げた6つの政策目標は達成できていると思いますか。(主観で結構です。)

6つの政策目標の到達状況



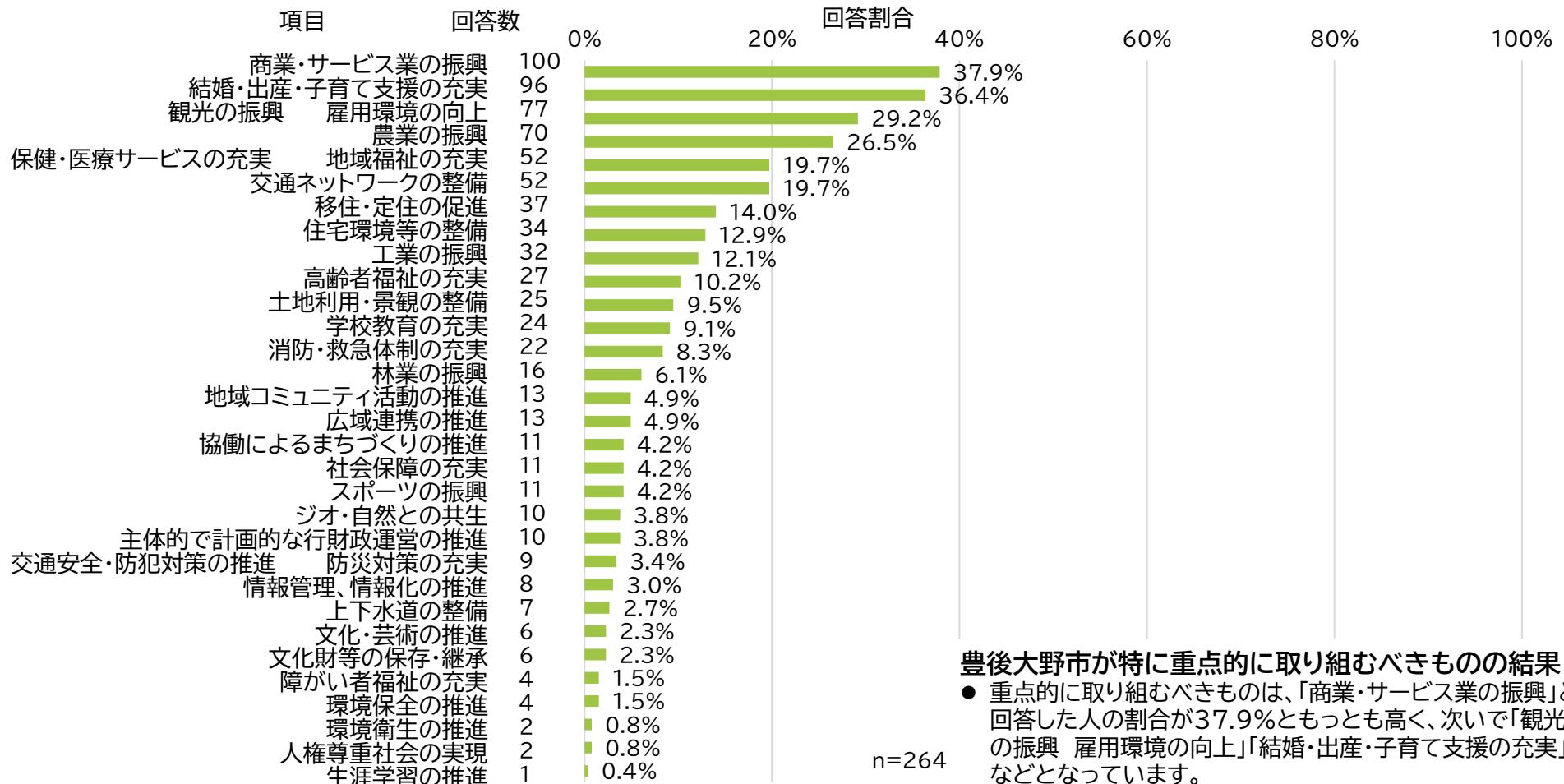
6つの政策目標の到達状況の結果

- 6つの政策目標の到達状況は、「豊かな自然を未来に残し伝えるまち」が「そう思う」「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)と回答した人の割合が73.8%ともっとも多く、次いで「豊かな福祉社会の実現を目指すまち」、「豊かな心と学ぶ意欲を育むまち」となっています。
- また、6つの政策目標の到達状況は、「豊かな生活を支えるしごとがあるまち」が「思わない」「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計)と回答した人の割合が71.9%ともっと多く、次いで「豊かなくらしと安心を実感できるまち」、「豊かさをつなぐ協働によるまちづくり」となっています。

(3)まちづくりの取組状況

設問文:問20.あなたが考える、今後5年間で豊後大野市が特に重点的に取り組むべきものを、3つ選んでください。

豊後大野市が特に重点的に取り組むべきもの



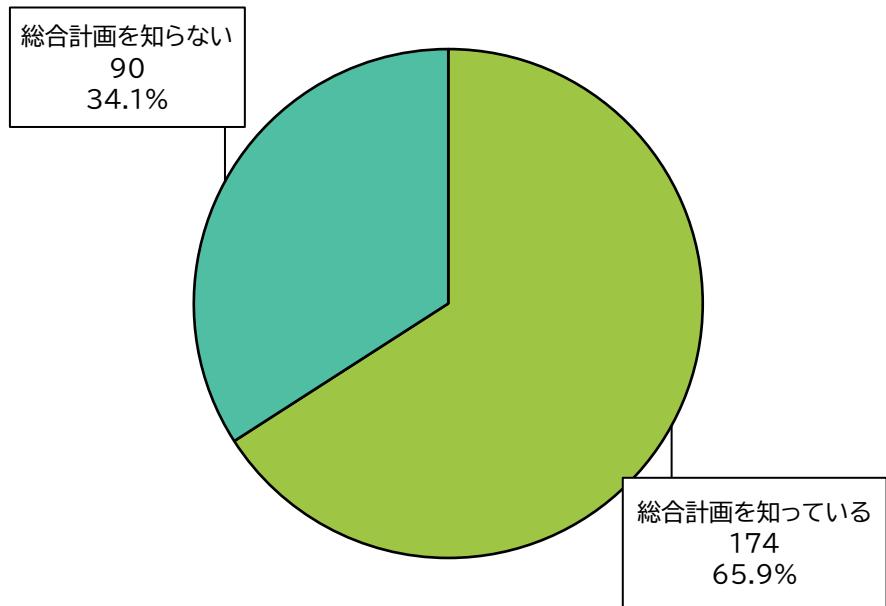
豊後大野市が特に重点的に取り組むべきものの結果

- 重点的に取り組むべきものは、「商業・サービス業の振興」と回答した人の割合が37.9%ともっと高く、次いで「観光の振興 雇用環境の向上」「結婚・出産・子育て支援の充実」などとなっています。

(4)総合計画に関する認識

設問文:問21.あなたは総合計画を知っていますか。

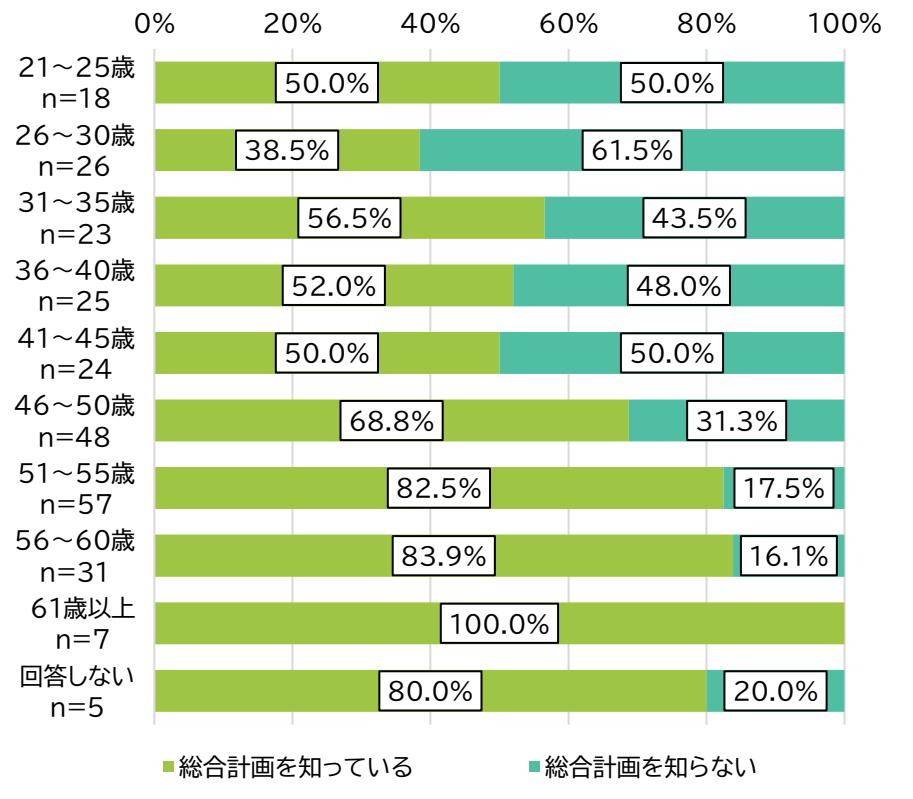
総合計画の認知



総合計画の認知の結果

- 総合計画の認知は、「総合計画を知っている」が65.9%、「総合計画を知らない」が34.1%となっています。

年齢別



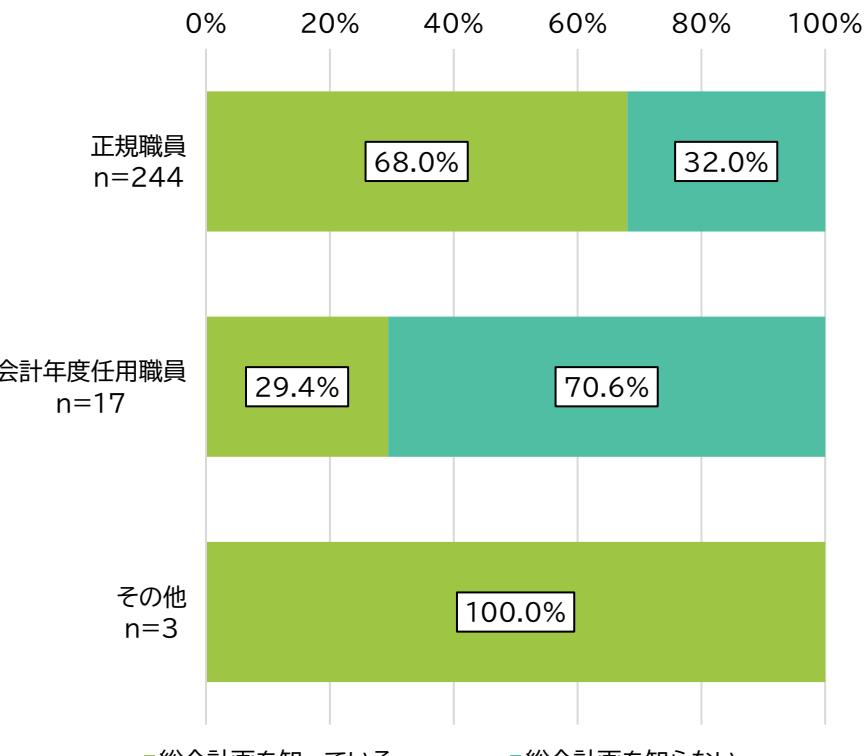
総合計画の認知×年齢別の結果

- 総合計画の認知の年齢別は、61歳以上で「総合計画を知っている」と回答した人の割合が10割とっとも高くなっています。

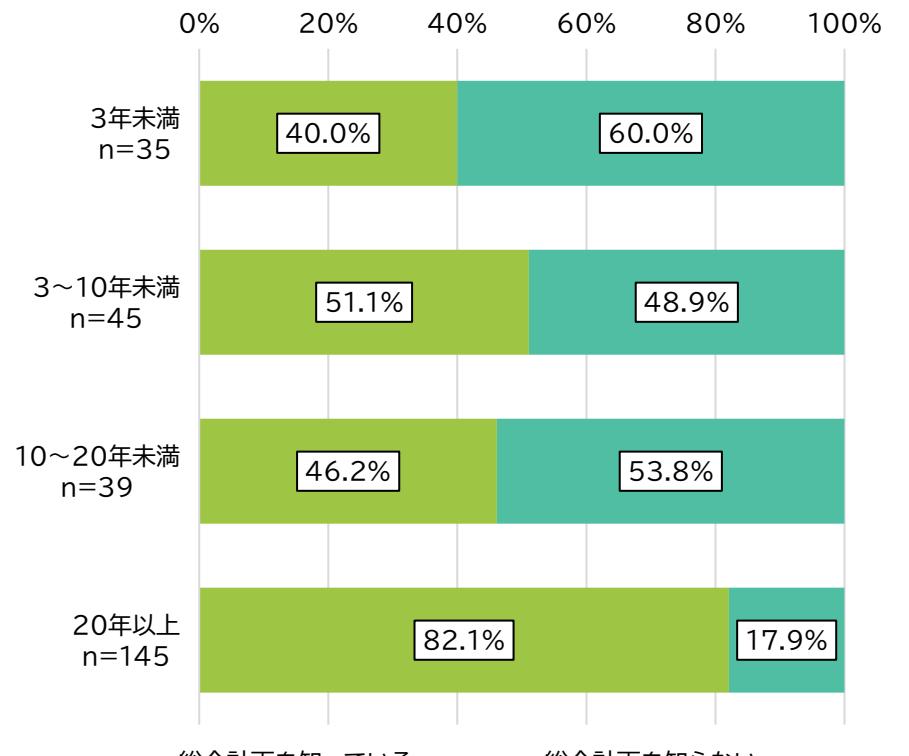
(4)総合計画に関する認識

設問文:問21.あなたは総合計画を知っていますか。

雇用形態別



在職年数別



総合計画の認知×雇用形態別の結果

- 総合計画の認知の雇用形態別は、正規職員で「総合計画を知っている」が約6割ともっとも高くなっています。

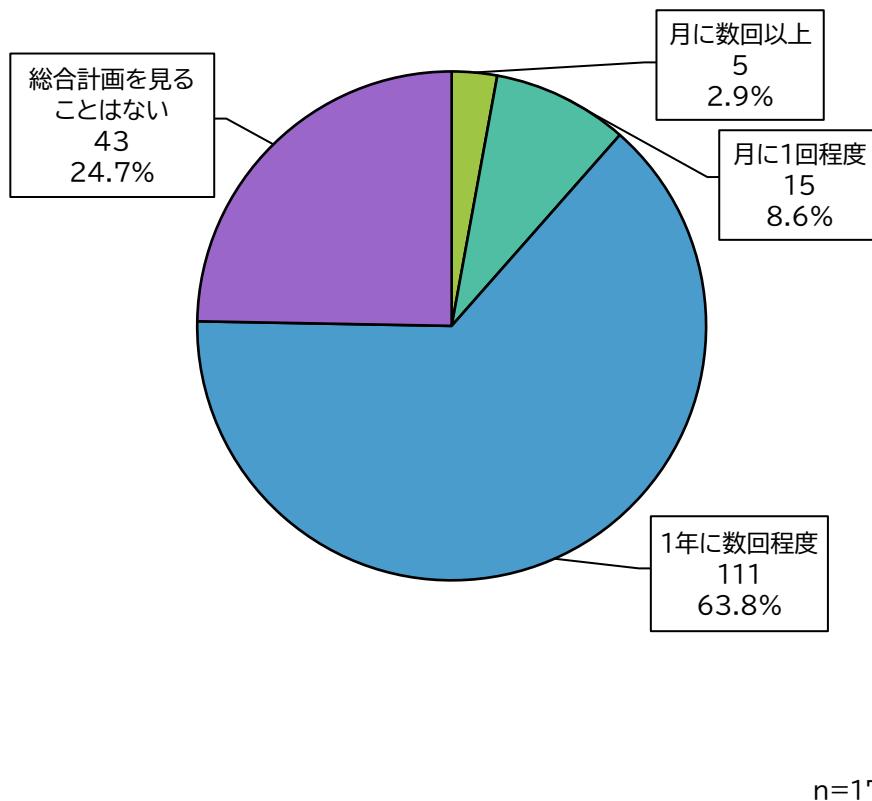
総合計画の認知×在職年数別の結果

- 総合計画の認知の在職年数別は、20年以上で「総合計画を知っている」が約8割ともっとも高くなっています。

(4)総合計画に関する認識

設問文:問22.(問21で「総合計画を知っている」を選択した方)あなたは総合計画・総合戦略をどの程度の頻度で見ますか。

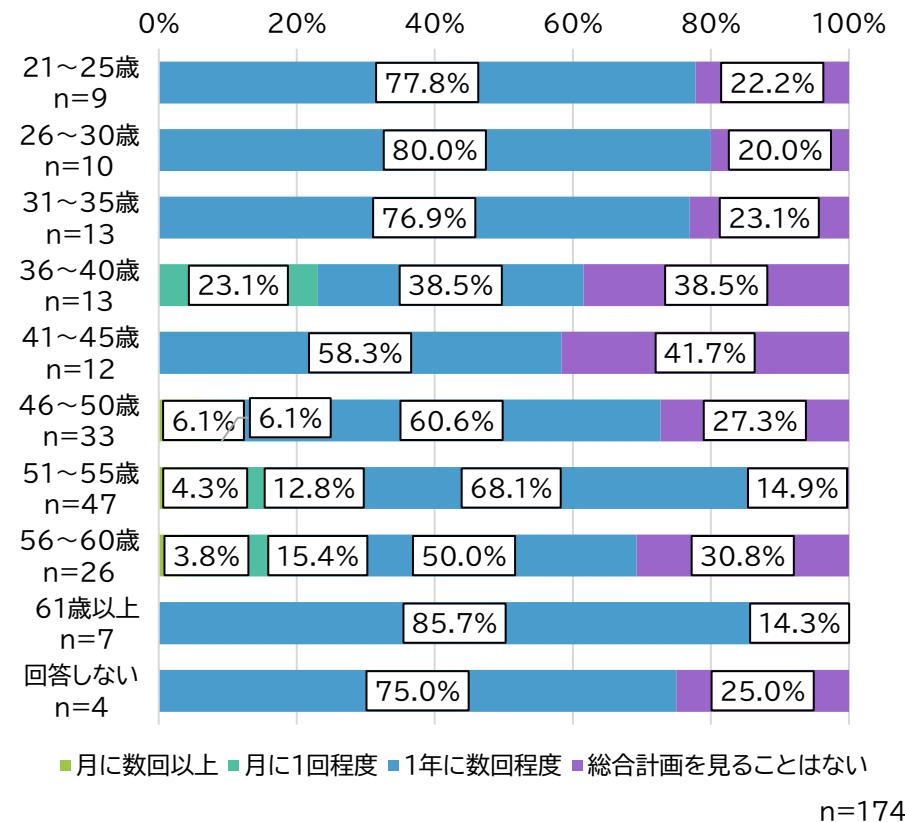
総合計画・総合戦略を見る頻度



総合計画・総合戦略を見る頻度の結果

- 総合計画・総合戦略を見る頻度は、「1年に数回程度」の回答が63.8%ともっとも高く、次いで「総合計画を見る事はない」、「月に1回程度」、「月に数回以上」となっています。

年齢別



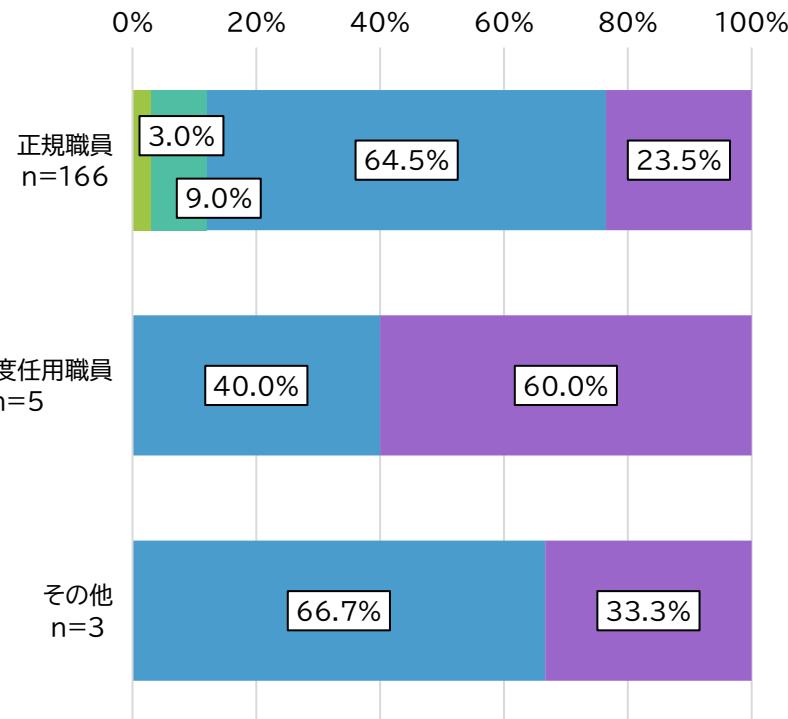
総合計画・総合戦略を見る頻度×年齢別の結果

- 総合計画・総合戦略を見る頻度の年齢別は、36歳～40歳で「月に数回以上」が約2割ともっとも高くなっています。一方で、41～45歳で「総合計画を見る事はない」が約4割となっています。

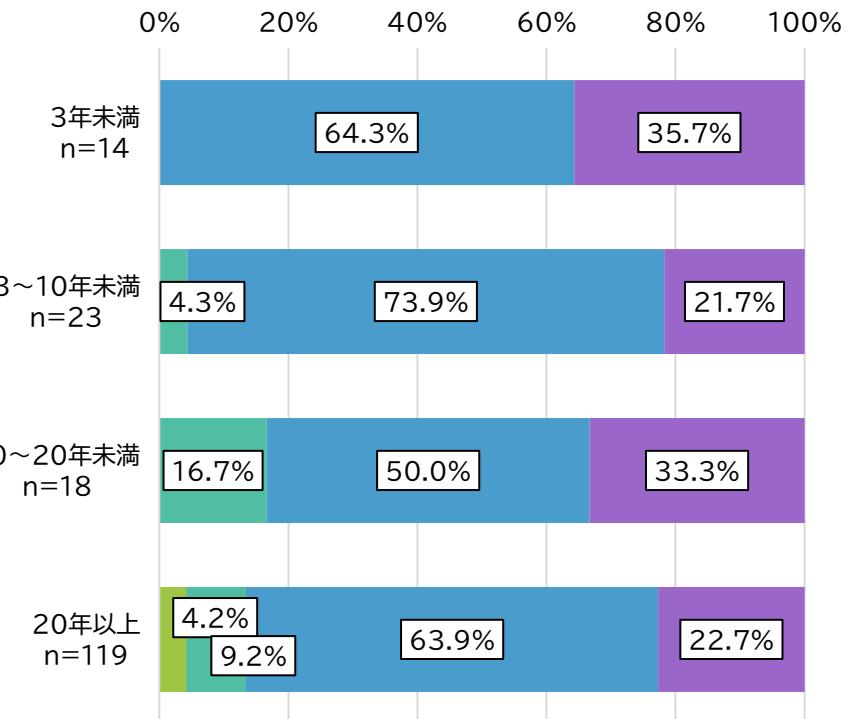
(4)総合計画に関する認識

設問文:問22.(問21で「総合計画を知っている」を選択した方)あなたは総合計画・総合戦略をどの程度の頻度で見ますか。

雇用形態別



在職年数別



総合計画・総合戦略を見る頻度×雇用形態別の結果

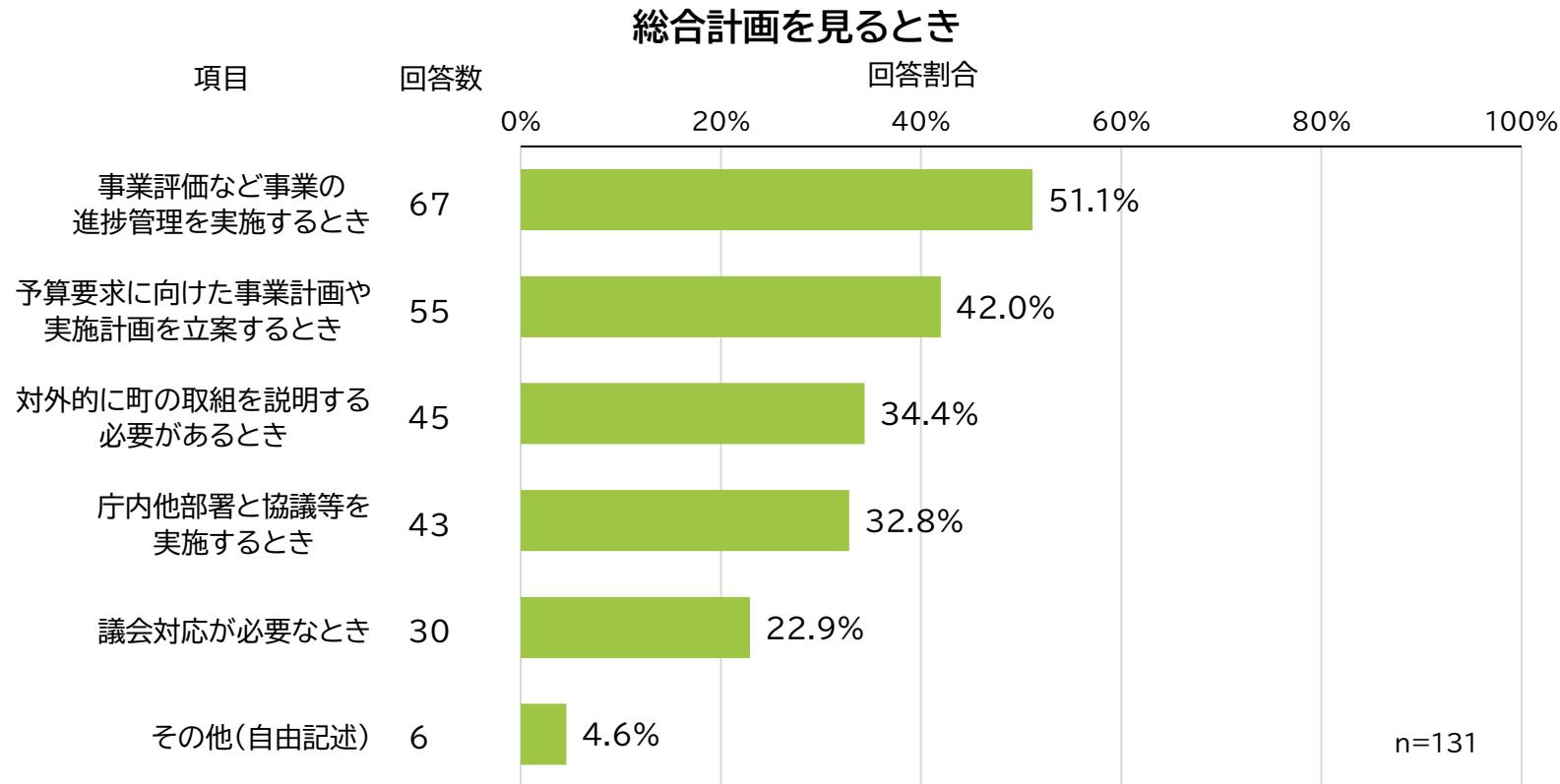
- 総合計画・総合戦略を見る頻度の雇用形態別は、正規職員で「月に数回以上」「月に1回程度」が約1割ともっとも高くなっています。

総合計画・総合戦略を見る頻度×在職年数別の結果

- 総合計画・総合戦略を見る頻度の在職年数別は、10~20年未満で「月に1回程度」が約1割ともっとも高くなっています。

(4)総合計画に関する認識

設問文:問23.(問22で「月に数回以上」「月に1回程度」「1年に数回程度」を選択した方)あなたは総合計画をどのようなときに見ますか。(複数選択可)

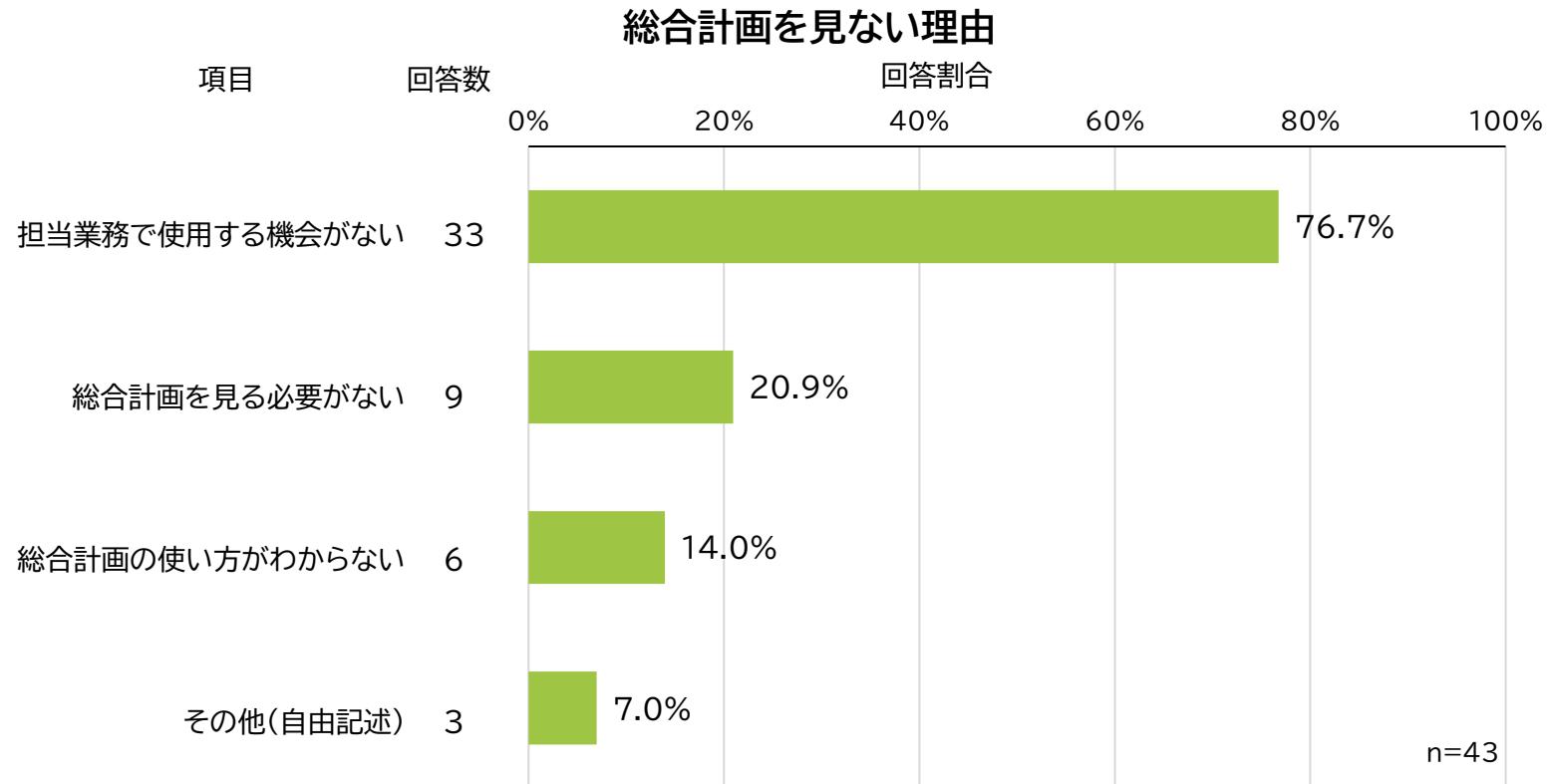


総合計画を見るときの結果

- 総合計画を見るときは、「事業評価など事業の進捗管理を実施するとき」と回答した人の割合が51.1%ともっとも高く、次いで「予算要求に向けた事業計画や実施計画を立案するとき」「対外的に町の取組を説明する必要があるとき」などとなっています。
- 「その他」の具体的な内容は、他の自治体の総合計画を読んだとき、他の部署の仕事内容が気になった時、研修・回覧など6件の意見がありました。

(4)総合計画に関する認識

設問文:問24.(問22で「総合計画を見ることはない」を選択した方)あなたが総合計画を見ない理由は何ですか。(複数選択可)



総合計画を見ない理由の結果

- 総合計画を見ない理由は、「担当業務で使用する機会がない」と回答した人の割合が76.7%ともっとも高く、次いで「総合計画を見る必要がない」が20.9%、「総合計画の使い方がわからない」が14.0%、「その他」が7.0%となっています。
- 「その他」の具体的な内容は、業務が忙しい、見る機会がないなどの3件の意見がありました。